

# 1 ガイヨウ

## 2 生薬の性状の項を次のように改める。

3 生薬の性状 本品は縮んだ葉及びその破片からなり、しばし  
4 ば細い茎を含む。葉の向軸面は暗緑色を呈し、背軸面は灰白  
5 色の綿毛を密生する。水に浸してしわを伸ばすと、形の整っ  
6 た葉身は長さ4～15 cm、幅4～12 cm、1～2回羽状中裂  
7 又は羽状深裂する。裂片は2～4対で、長楕円状ひ針形又は  
8 長楕円形で、先端は鋭尖形、ときに鈍形、辺縁は不揃いに切  
9 れ込むか全縁である。小型の葉は3中裂又は全縁で、ひ針形  
10 を呈する。

11 本品は特異なおいがあり、味はやや苦い。

12 本品の横切片を鏡検(5.01)するとき、主脈部の向軸側及  
13 び背軸側表皮の内側には数細胞層の厚角組織がある。主脈部  
14 の中央部には維管束があり、師部と木部に接して繊維束が認  
15 められることがある。葉肉部は向軸側表皮、柵状組織、海綿  
16 状組織、背軸側表皮からなり、葉肉部の表皮には長柔毛、T  
17 字状毛、腺毛が認められる。表皮細胞はタンニン様物質を含  
18 み、表皮下の細胞はタンニン様物質を含むことがある。柔細  
19 胞やT字状毛の柄の部分は油状物質、タンニン様物質を含む  
20 ことがある。

21